

# MINAMATA



みなまた  
市議会だより

第86号

令和3年2月1日  
編集 みなまた市議会  
だより編集委員会  
発行 水俣市議会  
電話61-1661  
<http://www.city.minamata.lg.jp>  
E-mail: [gikai@city.minamata.lg.jp](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)



湯出七滝・大滝

明けない夜はない  
医療従事者への感謝とエールを

# コロナ禍を乗り越え 議会の活性化を目指します



水俣市議会議長  
岩阪 雅文

市民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと存じます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に始まり7月の豪雨災害と多難の1年でした。被災地の一日も早い復旧を願ってやみません。

新型コロナウイルス感染症は、市民生活や経済に大きな影響を及ぼし、また市民の生活様式を大きく変えることとなりました。

市議会におきましては、仮議場でご不便をおかけしている上に、傍聴の制限、一般質問の中止・時間短縮、会期の変更、また市民の方々の対話の機会が減少するなど様々な形で影響がありました。

そのような中、新庁舎建設が順調に進んでおり、今年12月には、供用開始の予定です。議会では、新庁舎の完成に合わせ、情報化社会に向けて情報共有やペーパーレス化による事務の効率化などを目指し、タブレット導入の検討に入りました。

今回の新型コロナウイルス感染症によって、テレワークやリモート会議などICTを活用した働き方が進められてきました。市議会におきましては、情報化社会に対応した取り組みが求められます。まだまだ、多くの課題はありますが、先進議会を参考にしつつ取り組んでいきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の拡大が続き議員一同、コロナ禍を乗り越え、議会運営がより活性化し、市民の要望に迅速に対応できるように最善の努力をまいります。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願いつつ、新年の市政発展と市民の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



水俣市議会副議長  
牧下 恭之

令和3年、新しい年を迎えました。

昨年は世界を震撼させたコロナ禍で始まり、現在も終息が見えず行政も学校教育現場にも市民の皆さまに多大な影響が出ています。3密を避け、かからない、うつさないを守るためにマスクの着用と手指の消毒で家族の安全に頑張つてまいりましょう。また、誹謗中傷は絶対にあつてはならないと思えます。

そして7月豪雨災害で多くの方々が犠牲にされました。この原因の一つが温暖化にあります。政府は2050年までに、我が国の温室効果ガス

排出量実質ゼロ宣言し、取組みを始動させました。家庭と職場で徹底した省エネに取り組みでまいりたいと思えます。誰もが、より長く元気で暮らしたいという切実な願いはいつの世も変わりません。現在、死亡原因となっている脳卒中や心臓病への対策を強化する「脳卒中・循環器病対策基本法」施行から1年を迎えました。循環器病の場合、急性に発症し、数分から数時間単位で生命に関わる重大な事態に陥ります。死にいたらなくとも重度の後遺症を残すことも多い現状です。生活習慣病の早期発見・早期治療のためには、健診が大事です。予防医療の推進で治療法に役立つ診療情報収集・提供体制の構築に取り組んでまいります。

新庁舎建設も進んでいます。市民の皆さまの声を議会に反映できるように議員全員で取り組んでまいります。

# 12月定例会の報告

## 可決された補正予算・条例など

【令和2年度会計別補正予算】

(千円)

会計名	補正額	補正後の額
令和2年度一般会計(第12号)	47,821	21,455,538
一般会計(第13号)	512,169	21,967,707
国民健康保険(第3号)	2,286	3,689,597
後期高齢者医療(第2号)	814	451,455
介護保険(第3号)	1,155	3,751,196
病院事業(第1号) 収益的収入	16,800	7,899,418
資本的収入	65,010	1,205,116

### 工事請負契約の変更

- 工事名 生態系に配慮した渚造成整備(護岸)工事
- 契約金額 3億2,578万8,857円(変更前 3億1,570万円)
- 変更理由 鋼矢板設置工事の数量の変更等が生じたため

- 工事名 文化会館外壁等改修工事
- 契約金額 1億6,737万8,968円(変更前 1億6,500万円)
- 防水改修工事、外壁改修工事、内壁改修工事の数量等に変更が生じたため

## 条例

### 〈現行の条例改正〉

- 水俣市企業立地条例の一部を改正する条例

中小企業の事業承継の促進のための中小企業における経営の継承の円滑化に関する法律等の一部を改正する法律が10月1日より施行されたための改正です。

- 水俣市長等の給与に関する条例等の一部を改正する条例

令和2年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じて制定するものです。

- 水俣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の減額に係る所得の基準について地方税法施行令が改正されたことに伴い改正するものです。

## 補正予算の主なもの

- 新型コロナウイルス感染症対策商工会議所補助金 4782万円

水俣商工会議所が行うプレミアム付き商品券事業に対し補助金を交付するものです。  
(販売額 2億円、購入限度額 1世帯 上限5万円)

- 並行在来線第三セクター鉄道会社運営費補助金 845万円

令和2年7月豪雨災害により被害を受けた肥薩おれんじ鉄道に対し、復旧支援を行うものです。

- ふるさと大好き寄附金事業 1662万円

寄附金の増額に伴う返礼品等にかかる経費の増加分です。

- 土地評価データ反映業務委託料 148万円

固定資産税課税システムデータ取り込み業務委託のための経費です。

●**県営土地改良事業負担金**

941万円  
県事業費の増額に伴う負担金の増額です。

●**鳥獣被害防止緊急捕獲対策補助金**

130万円  
有害鳥獣の捕獲頭数の増加による駆除補助金の増額です。



●**茂道漁港防波堤保全工事**

50万円  
茂道漁港の物揚場階段工事の追加のための増額です。

●**市道修繕料**

300万円  
市内一円の市道維持管理費及び補修等の増加に伴うものです。

●**新型コロナウイルス感染症対策補助金**

388万円  
延長保育事業4施設、子育て

短期支援事業2施設、一時預かり事業3施設、病児保育事業2施設への交付分です。

●**水俣病資料館整備事業**

2137万円  
新型コロナウイルス感染症対策として、漆喰塗料を用いた塗装改修工事の他、施設内6カ所の雨漏りに対する改修工事費用です。

●**電子黒板購入費（ICT整備事業）**

1524万円  
市内の小中学校29台分の購入費です。今回の購入により、各フロアに1台程度が可能となります。



電子黒板を活用した授業の様子（水俣第一小学校）

●**修学旅行キャンセル料等追加費用補助金（小中学校）**

262万円

新型コロナウイルス感染症により、修学旅行をキャンセルすることとなった場合の保護者が負担するキャンセル料等、費用の一部について補助を行うための費用です。

●**薩摩街道発掘調査業務委託**

1379万円

袋インターチェンジ（仮称）改良工事にあたり、薩摩街道の遺構が確認され、今年4月から6月に調査を実施します。

●**総合体育館空調設備更新工事**

3462万円

総合体育館の会議室・トレーニングルームなどの空調設備工事費です。

●**公共土木施設災害復旧工事**

2億5700万円

令和2年7月豪雨により被災した公共土木施設での新たな被災

箇所と災害査定を受けた被災箇所の工事費の増加によるものです。

●**公共土木施設災害応急復旧業務委託料**

1270万円

令和2年7月豪雨により被災した公共土木施設での新たな被災箇所と発生時の応急復旧委託料の増加によるものです。

その他の

●**財産の取得について**

・取得する財産の表示  
（種類）GIGAスクール用  
端末

（数量）1908台

・取得方法  
一般競争入札（熊本県内の一部自治体による共同調達）

・取得の相手方

富士電機ITソリューション

株式会社熊本支店

支店長 佐々木 敬次

・契約金額

8227万2960円

GIGAスクール用端末の取得について、水俣市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定によるものです。

●市道の路線認定について

・路線名：汐見町11号線  
汐見町1丁目地内において、道路用地の寄附があったため、市道として認定するものです。

人事案件

●教育委員会委員の任命

山田 誠次氏（袋）

●人権擁護委員候補者の推薦

井上 信二氏（牧ノ内）  
和田 恭子氏（牧ノ内）

意見書

《原案可決》

●過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う新たな法律の制定に関する意見書

●医療・介護の一部負担金・利用料

の免除等に対する国の財政支援の延長を求める意見書

●安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める意見書

陳情

●日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出の陳情（不採択）

●国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情（不採択）

●風力発電計画に対する水俣市長の慎重な調査、検討を求める陳情（陳情取り下げ）

●安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情（採択）

●国、熊本県へ「不知火海沿岸住民（山間部含む）の健康調査の実施を求める」意見書提出の陳情（継続審査）

賛否の分かれた議案

議案の審議結果

会派	真志会					自由民主党 自民会派				無限21			日本共産党		誠心会	公明党	結果
議員名	真野	木戸	小路	桑原	谷口	松本	岩阪	岩村	田口	田中	杉迫	藤本	高岡	平岡	測上	牧下	
工事請負契約（生態系に配慮した渚造成整備〈護岸工事〉）の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛	賛	原案可決
国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情について	否	否	否	否	否	否	議長	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	不採択
	（反対討論） 陳情趣旨の中に数箇所疑義が見られることや、国のほうでも少人数学級の検討が既に進められていることから反対する。																
	（賛成討論） 少人数学級であれば子どもたち一人一人とゆっくり向き合うことができ、感染対策として身体的な距離の確保も可能となる。文科省が努力している中で本陳情を採択することは時宜を得て後押しすることにもなる。																

# 常任委員会の報告

\*各常任委員会で交わされた主な質疑の内容です。

## 厚生文教 正) 谷口・岩阪・瀧上・田口 副) 藤本・平岡・木戸・真野

財産の取得1件、補正予算5件、契約の変更1件、陳情3件

### ●財産の取得について

**質疑**—熊本県の共同調達による取得方法のメリットと参加自治体数は

**答弁**—主なメリットは共通仕様書の作成ができること、年度内の確実な調達、スケールメリットによる安価な調達等であり、参加自治体数は12である。

**質疑**—タブレット端末の導入時期と授業における運用開始時期は

**答弁**—端末の導入と設定については今年度内を予定している。授業での本格的な運用については来年度以降の予定である。

**質疑**—教職員を対象とした研修会の予定は

**答弁**—情報教育担当教員を対象とした研修等を計画しているほか、ICT機器保守サポート業者が各学校を回り、全職員を対象に研修やサポートを行う予定である。

### ●令和2年度水俣市一般会計補正予算第13号中付託分について

**質疑**—修学旅行キャンセル料等追加費用補助金の補助対象は

**答弁**—新型コロナウイルスの感染拡大などで旅行全体が中止となるものが対象であるが、現状では、中止に至った学校はない。

**質疑**—薩摩街道発掘調査業務委託の財源が一般財源である理由は

**答弁**—調査場所が南九州西回り自動車道の道路改良工事にかかっており、令和3年の7月もしくは8月から行われる工事の前に、急いで発掘調査を行う必要があり、一般財源になった。

**質疑**—総合体育館空調設備更新工事費用は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象にならなかったのか

**答弁**—臨時交付金対象の事業が多く、事業費が確定していないので、地方債を財源として計上している。各事業が確定して、交付金の充当残をこの事業に充てる予定である。

**質疑**—空調設備更新工事が行われる体育館内の場所は

**答弁**—会議室やキッズルーム、トレーニングルームなど既に空調設備がある場所である。

## 総務産業 正) 岩村・田中・桑原・牧下 副) 小路・高岡・杉迫・松本

専決処分報告及び承認2件、条例の改正2件、補正予算1件、契約の変更1件、その他の議決事件1件、陳情1件

### ●令和2年度水俣市一般会計補正予算第13号中付託分について

**質疑**—ふるさと納税に係る業務委託について、前年度の業者から変更等があったか

**答弁**—寄附額の増加を図るため、プロポーザルを行い、9月に新しい業者を導入した。

**質疑**—委託業者の変更に伴い、地元事業者から、返礼品登録に不適切な対応があったと聞いている。12月の書き入れ時の機会を逸しているのでは

**答弁**—委託業者を変更した後、早急に返礼品の登録数を増加させているが、その作業過程において、地元事業者に負担が生じないように、地元事業者の要望等を正確に委託業者に届け、適切に対応させる。

**質疑**—国有資産等所在市町村交付金の内容は

**答弁**—対象資産は、水俣港湾に係る分になり、県からの交付金になる。平成24年度まで交付されていたが、県の解釈の誤りにより、平成25年度から交付されなくなっていた。令和2年度に、県において過去分を見直し、調査していただいたところ、交付漏れになっていたことが判明したため、県と市と協議のうえ、時効が成立した平成25年度と平成26年度を除く平成27年度以降の5年分について、遡って追加交付を受けることになった。

### ●工事請負契約の変更について

**質疑**—数量変更の内容は

**答弁**—枚数の変更はないが、矢板に用いる耐食性を増すための重防食処理の範囲が若干、変更となった。

## 厚生文教常任委員会視察報告

### ◎視察メンバー

委員長：谷口明弘 副委員長：藤本寿子  
委員：岩阪雅文、平岡朱、瀬上茂樹、木戸理江、田口憲雄、真野頼隆

### ◎視察目的

国立水俣病総合研究センターの事業内容や施設見学及び水俣市の環境の現状を学ぶことにより、水俣病問題の理解促進を図ること。

### ◎視察日時、場所

12月21日（月） 国立水俣病総合研究センター

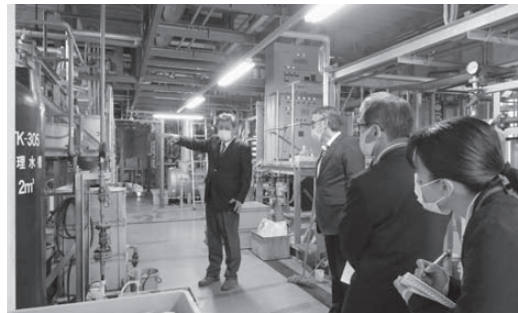
### ◎視察内容

#### 1 施設見学

職員の説明を聞きながら排水処理棟、BANK 棟、リハビリ施設等を見学した。



国立水俣病総合研究センター全体



排水処理棟



BANK 棟



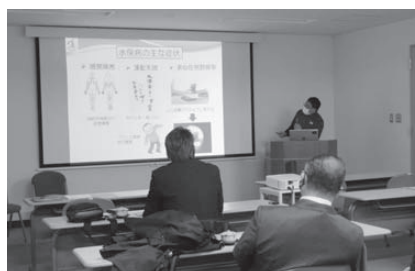
ロボットスーツHAL

#### 2 講演

○水俣湾と不知火海の現状について（松山明人 国際・総合研究部長）

○水俣病における客観的診断法の開発について（中村政明 臨床部長）

○水俣病における健康影響と水俣湾汚泥の潜在的な健康リスクについて（坂本峰至 所長特任補佐）



※施設の公開や研究についてご関心のある方は、国立水俣病総合研究センターのホームページをご覧ください。

# 令和元年度 特別会計・企業会計決算審査報告

特別会計、企業会計の全事業について、全員異議なく認定及び可決すべきものと決定しました。なお、各事業における質疑は次のとおりです。

## 特別会計

### 公共下水道事業

**質疑** 汚水管路の点検はどのように行っているか

**答弁** 汚水幹線は、カメラを導入し点検実施している。汚水枝線は、会計年度任用職員が年間を通じマンホール内の点検を行っている。

**質疑** 今年度の使用料収入未済額が、昨年度より大きく増えている理由は

**答弁** 公営企業会計移行に伴い、今年度は3月で決算を打ち切ったことによるもので、通常は4、5月の出納整理期間中に入るものが今年度は収入に計上されないため大きく増えるが、4月以降の収入を加え例年同様となる。

### 国民健康保険事業

**質疑** 人間ドックと脳ドックが行える市の医療機関は

**答弁** 人間ドックは、総合医療センター、尾田胃腸科、

市川内科クリニックの3カ所で、脳ドックは総合医療センターのみである。

### 後期高齢者医療

**質疑** 特例措置廃止による9割軽減の該当者数は

**答弁** 平成30年度に9割軽減で、令和元年度に8割軽減になった人数は1318人である。

ただし、新規に8割軽減になった人や年度途中の軽減割合変更など、年度内の異動者も含んでいる。

### 介護保険

**質疑** 独居等高齢者緊急対応支援の概要は

**答弁** 緊急通報システムのことである。

一人暮らしで心身状態に不安のある高齢者が、有事の際にボタンを押す事で本部から登録してある2名の支援者に連絡が行く。業者はアルソックと

## 企業会計

### 水道事業

**質疑** 企業債償還金の繰上償還はできないのか

**答弁** 幾つかの条件を満たす必要があるが、現在は行っていない。

日本水道協会を通し国に對して、保証金免除の繰上償還の実施を要望している。

### 病院事業

**質疑** 熊本メディカルネットワークに登録するメリットは

**答弁** 一点目は、災害で病院が被災しても、カルテのデータが親サーバーに残っていることで、継続的に滞ることなく治療ができる。

二点目は、患者さんにかかりつけ病院が複数ある場合、同じ薬が何回も出されるような過剰な治療を防ぐことができることである。

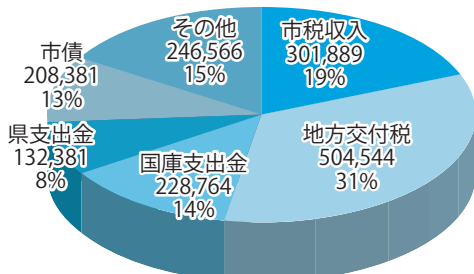
キューネットである。

# 令和元年度 一般会計決算審査報告

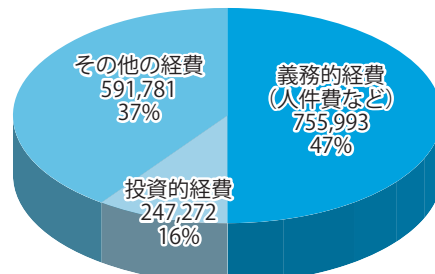
委員長：小路貴紀 副委員長：岩村龍男  
委員：田中睦、高岡朱美、瀧上茂樹、木戸理江、田口憲雄

10月27日から29日までの日程で特別委員会を開催し、各担当部・課から説明を受け、質疑・審査を行いました。結果、全員異議なく認定するものと決定し、市長に要望書を提出しました。

【歳入】 162億2,525万円



【歳出】 159億5,046万円





## 要望書

1 庁内全般における各種相談及び市民手続き等に対する接遇については、より一層、職員の意識向上に努められたい。

特に、高齢者や障がい者

子育て世代等へは寄り添った親切な応対をすることで、市民に喜ばれ、頼りにされる庁舎となるべく普遍的な取り組みの継続、併せて令和3年に供用開始となる新庁舎においては、市民の負担軽減及び利便性向上が期待できるワンストップ窓口での接遇へ活かすよう努められたい。

2 丸島水路公害防止事業費

事業者負担金や、その他の税の収入未済分については、引き続き徴収に努められ、できるだけ不納欠損処理に至ることがないように努められたい。

また、払えるのに払わない悪質な事例に対しては、税の公平性の観点からも厳しく対処されたい。

3 人口減が進む一方で、市民のニーズは多様化しつつある。

本市の財政状況が厳しい中にあつては、事業の見直しや組み替え等によって、事業の成果を高めつつ、市民の幸福度につなげられるよう努められたい。

類似箇所の工事等については、安易な改修等を繰り返すことがないよう、職員の意識改革と瑕疵担保責任等を含めた庁内でのチェック機能の強化を図り、無駄な支出に繋がらないよう努められたい。

また、廃校後に用途廃止されていない教育施設、今後の市営住宅の統廃合に係る将来的な土地活用に関しては、ランドデザインの

検討に着手されたい。

4 地元の若者が残りやすく、市外からの定住・移住者が住みたくなる環境整備及び情報発信の取り組みを継続し、空き家については定住・移住者をはじめ空き家に住める利活用、あるいは空き家を新たな宅地として市場流通される等の具体策を講じられたい。

これからは国が進めるICT化への対応が様々な分野に深く関係していくことは必須である。また、多種多様で複合的な相談に応じる婦人相談員の増員への対応等については、専門的スキルを持ち合わせた人材の確保が求められる。

さらに、地域おこし協力隊の募集についても、本市で起業するという本来の目的を持った採用等を通して、定住・移住の具体的成果に結びつけていかなければな

らない。

そのためには、広い視野で多様な人材を本市に呼び込む必要性があることから、庁内組織の横断的な連携によって定住・移住の促進に取り組みよう努められたい。

5 観光入込客をはじめとする交流人口を増やす取り組みは、自治体間の競争が増す中、知恵と工夫によって各自自治体における優劣が明確になってきている。その大きな要因の一つにSNS等の活用があり、行政が発信するPR策はもとより、集客力の背景に観光入込客自らがSNS等へ情報をアップしてくれる効果が際立ってきている。

今後はより一層、観光地及び宿泊施設等でのWi-Fiが利用できる環境は必要不可欠であり、今やWi-Fiが利用できない場所は観光客や宿泊者が敬

遠する懸念があることを強く指摘しておきたい。よって、交流人口を増やす具体的な施策として、市内主要箇所へのWi-Fiスポットの設置等を含めた通信インフラの整備に努められたい。

6 本市の基幹産業である農

林水産業については、時代に即応した積極的な支援策を講じられたい。

また、農林業生産者をおびやかしている有害鳥獣の駆除対策については、引き続き関係機関との連携を強化しつつ、生産者の不安解消に努められたい。

本市におけるICTを活用したスマート農業等の取り組みは進んでいないため、生産者への情報の提供を図り、先進地事例を学びながら取り組みを推し進められたい。

# あなたの声を市政に

## 紙面から動画にリンク

各議員の写真の下の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料は利用者の負担となります。

### ●谷口 明弘

1. 水俣市の財政状況について
2. 令和3年度当初予算編成方針について
3. 光インターネット回線の整備について
4. 企業誘致活動について
5. 地上デジタル放送の共同アンテナ受信設備改修について

### ●松本 和幸

1. 風力発電事業計画について
2. 介護職員の処遇改善について
3. 水俣川河川改修について
4. 丸島江添川の計画について

### ●田中 睦

1. コロナ禍における学校現場の状況について
2. 学校給食の安全性と地産地消の推進について
3. 森林伐採の現状について
4. 水俣病問題について
5. 映画「MINAMATA」について

### ●平岡 朱

1. 多様な「性」を生きる人たちが暮らしやすい社会の実現について
2. 小学校運動部活動の社会体育移行後の課題について
3. 再生可能エネルギー100%のまちづくりについて
4. 水俣病問題について

### ●高岡 朱美

1. 学校給食に提供される食材の安全確保と対策について
2. 本市の財政状況について
3. 病院、高齢者施設でのクラスターを未然に防ぐコロナ対策について

### ●小路 貴紀

1. 道の駅みなまたの再整備について
2. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
3. 特産品化に向けた取り組みについて

### ●藤本 寿子

1. 水俣市の財政状況悪化による市民生活への影響について
2. 道の駅・海の駅整備事業について
3. 水俣市の山間地に建設予定の風力発電所について

### ●桑原 一知

1. 防災・減災について
2. 農業振興について
3. GIGAスクール構想と学校ICT化について

### ●杉迫 一樹

1. 新庁舎のユニバーサルデザインについて  
(1) 基本構想、基本設計について  
(2) 利便性について  
(3) 新庁舎に関わる対応について
2. 教育現場でのICT機器活用について

### ●牧下 恭之

1. 地球温暖化対策について
2. 不妊治療支援について
3. 水俣市立図書館について

### ●木戸 理江

1. 医療センターの効果的運用と利用向上対策について
2. 学校の現状について
3. 湯の鶴地域の観光振興策について
4. 水俣市の防災と安全対策について



谷口 明弘 議員  
(真志会)



# 厳しい財政状況下で財政健全化に どう取り組む

## 水俣市の財政状 況について

**問** 財政状況をどのように認識しているか

**答** 本市の財政は、非常に厳しい状況にある。本市の経常収支比率は100%を超過しており、財政調整基金を取り崩さないとやっていけない状況にある。

また、財政調整基金残高は、令和元年度末時点で約5億5千万円まで減少しており、このままでは、減債基金、公共施設整備基金も枯渇し、通常業務を普通に行っていくけない状況に追い込まれる可能性がある。

**問** 現状に至った経緯とその原因についてどう考えているか

**答** 本市の財政悪化は、10年も前から始まっていた。見通しの甘い財政運営が行われ続けた結果が、今であると認識している。

**問** 悪化した財政を、どのようにして立て直していくつもりか

**答** ハード面では施設の整理統合が不可欠。また、ソフト面で補助金等の削減を図らなければならぬ。しかし、健全な水俣市の未来を引き継ぐために、令和3年度当初予算を、財政健全化に向けて方向転換する予算と位置づけ、全力を尽くす所存だ。

## 令和3年度当初予算 編成方針について

**問** 令和3年度当初予

算はどのような方針に基づいて編成するのか

**答** 以下の3つの柱を基本方針として編成する。

第1の柱は、「人命を守ることを第1とする予算編成」。近年頻発している大規模災害から人命を守ることを第一とする予算を編成する。

第2の柱は、「重要プロジェクトの推進」。庁舎の建替事業、袋インターチェンジ建設事業、水俣川河口臨海部振興構想、物産館構想など、複数年にわたって遂行する大規模な重要プロジェクトは滞りなく推進していく。

第3の柱は、「財政健全化への方向転換」。令和3年度当初予算においては、予算要求基準を設定のうえ、歳入歳出を徹底して見直した予算を編成する。財政破綻という暗い未

来を、将来の子どもたちに引き継ぐようなことがあつてはならない。この一心で、財政健全化に、不退転の決意で、全力で取り組むつもりだ。



## 光インターネット

### 回線の整備について

**問** 整備地域と今後のスケジュールはどのようなになっているのか

**答** 光インターネット回線が未整備であった湯出、久木野、葛渡の3地域を対象に整備を行う。

今後のスケジュールについては、令和3年度中に回線整備が完了する。

## 地デジ共同アンテナ 改修補助金について

**問** テレビが映りにくい山間部では、共同アンテナを立てて、地デジの電波を受信しているが、災害のたびに、電柱が折れたりして改修費用が膨れ上がっている。積み立てた組合の資金は枯渇してきており、このままではテレビ放送が見れなくなってしまう。例えば、電柱の材料支給など検討できないか

**答** 今後、どのような支援ができるのか、検討していきたい。





松本 和幸 議員  
(自由民主党自民会派)



# 水俣川河川改修 豪雨で埋まった土砂の撤去 約12,000m<sup>3</sup> 令和3年の梅雨時期まで

## 風力発電事業 計画について

問 国は2050年までに温室効果ガスの排出を、全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会」の実現を目指すことを宣言されている。脱炭素社会の実現に向けて、国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど総力を挙げて取り組み、再生可能エネルギーを最大限導入すると表明されている。風力発電計画が水俣市、出水市、伊佐市、津奈木町、芦北町エリアで計64基が計画されている。自

民党議員で阿蘇西原村、鹿児島県南大隅町に行き、風力発電を見学してきた。西原村は2005年運転、総事業費27億円で10基、南大隅町は、2003年運転、総事業費43.5億円である。両村町とも建設当時から地元行政が協力して建設されている。さらに、両村町とも、建て替えが始まろうとしている。九州管内では、福岡、長崎、佐賀、天草苓北でも建設が予定されている。宮崎県串間市では、九州一の風力発電が8月に稼働している。国の方針により、風力発電の増加が今後も予測される。風力発電について、市長の基本的な考えは

答 現在、市において民間事業者による風力発電事業が計画されている。それぞれの事業者において環境影響評価法に基づき、調査や

手続きを進められている段階である。市民の皆さんの十分な理解が必要であるため、事業者に対して丁寧な説明を求めている。



## 介護職員の処遇 改善について

問 介護職員の処遇は十分といえない。ハローワークに求人を出しても応募がない状況にあり、きつい・賃金が安いのが主な原因だと考える。介護保険料を納めている皆さんにいくらか負担していた

だき、介護従事者に支給することはできないか

答 健康保険や国民健康保険などの医療保険の保険料と一体で徴収される仕組みとなっており、できない。

問 国の介護報酬の改定は3年ごとだが、今度はいつか

答 来年度がその改定の年にあたる。市としても、この報酬改定に期待したい。

## 水俣川河川改修 について

問 県知事の対策に7月豪雨で埋まった水俣川河川改修も含まれているのか

答 7月豪雨を受け、中鶴地区で緊急的に堆積土砂撤去を追加し、合わせて約7000m<sup>3</sup>の撤去を進める。令和3年の梅雨時期までに、

問 丸島雨水ポンプの設置はいつできるか

答 水俣市下水道ストックマネジメント計画において、令和6年度から令和8年度にポンプ用駆動エンジン及び電気設備等の更新を計画している。



## 丸島江添川の 計画について

幸橋付近から長野町までの区間、湯出側は水俣川と合流地点から上流の平上堰付近までの区間の約12000m<sup>3</sup>を想定している。



田中 睦 議員  
(無限21)



# 先生の持ち帰りの仕事も減らして

## コロナ禍における 学校現場の状況に ついて

問 感染症対策で増加した学級担任の業務をサポートするスクールサポートスタッフの採用状況は

答 3人配置された。

問 教員の時間外勤務の上限を、ひと月45時間、年360時間とする方針が出された。学校の働き方改革の推進にどう取り組むか

答 これまでの取り組みを継続しつつ、方針に沿うよう指導してきた。今年度はコロナ対策で多くの対応や工夫が求められている。今

後、スクラップアンドビルドの視点も入れ、働き方改革を推進していく。

問 組合の調査では、超過勤務時間は減っていないし、正確な記録がなされていない結果が出ているが

答 月45時間以上の職員は減少傾向にある。今後も勤務時間の長時間化を防ぐ取り組みについては、引き続き指導を徹底する。

問 勤務時間報告は正確になされていると認識している。

問 持ち帰りの業務を減らす論議をして対策を立ててはどうか

答 持ち帰りは行わないことが原則で、行事



の中止や縮小、研修の見直し、事業のスリム化など、業務の縮減につなげ、持ち帰り縮減を推進したい。

## 給食の安全性と地産地消の推進について

問 安全性を懸念する声のある遺伝子組み換え食品や特定の遺伝子を壊す技術を使ったゲノム編集食品への対応をどうしているか

答 これらの食品は厚生労働省の食品安全委員会の審査を経て流通する仕組みになっており、安全性が確認された食品を給食で使用している。

問 地産地消の推進にどう取り組んでいるか

答 地場産物の活用は37%で、国の目標値の30%を達成している。延べ15名の市内生産者から、31品目の食材を購入している。

## 水俣病問題について



問 小泉環境相の「健康調査に用いる『客観的診断手法』について、1〜2年後をめどに研究成果の有効性を判断する」という旨の発言をどうとらえるか

答 1〜2年後に健康調査の実施が可能となるわけではないとの理解である。

問 脳磁計とMRIを組み合わせた手法が、水俣病の診断に使われることには心配の声があるが、見解はどうか

答 専門家ではないので、見解を述べることは適当でない。

## 映画「MINAMATA」について

問 水俣病を世界に伝えた写真家ユージン・スミスやジョニー・デップが演じるこの映画についての情報は

答 新聞報道以外の情報は少ない。

問 映画を通して、水俣に関心を持つ人が増え、水俣を訪れる人が増えることを願っている。以前市長が言われた、水俣の歴史や現在の姿を知ってほしいという思いを発信し、水俣のPRや活性化につなげてはどうか

答 映画の内容を把握していないので、こちらから伝えることは特にない。内容が地域活性化に結び付くのであれば考えていく。

ほかに、森林伐採の現状についても質問しました。



平岡 朱 議員  
(日本共産党)



# どんな「性」を生活している人でも 安心して自分らしく暮らせる社会の実現を

## 多様な「性」を生きる 人たちが暮らしやすい 社会の実現について

- 【問】人は男女の2種類ではなく多様な性に生まれる。日本におけるLGBTなど性的少数者の割合は左利きやA型の人と同じ1割の結果があるが、公共施設の多目的トイレについて幅広い方が利用しやすいよう表示の工夫を検討できないか
- 【答】利用しやすい表示を検討していきたい。
- 【問】性別欄が必要ない書類について見直しをしてもらえないか
- 【答】現状把握のための調査に着手したい。
- 【問】本市でも「パート

ナーシップ宣誓制度」の導入に向けた議論を始めてもらえないか

【答】制度についての調査研究を行い必要性について考えていきたい。



## 小学校部活動の 社会体育移行後 の課題について

- 【問】社会体育移行後2年目となり、課題や現状を把握するための手立てを講じることができないか
- 【答】既に全てのクラブチームの活動内容を定期的に把握している。
- 【問】「住んでいる地域」や「経済的な理

由」等で、格差なくスポーツができる機会が得られるように思っているが市の考えはいかがか

【答】現在できる支援については最大限取り組んでいる。

## 再生可能エネルギー 100%のまちづくりについて

- 【問】再生可能エネルギーの導入を進めるため市民参加型の新電力会社を立ち上げてはどうかと思うがいかがか
- 【答】考えていない。
- 【問】小水力発電の導入を検討できないか
- 【答】課題が多いため設置する計画はない。



【問】現在導入している「チツソの水力発電」について、市有施設以外でも幅広い導入を検討できないか

【答】供給電力量が不足することが予測されるため現時点では考えていない。

## 水俣病問題について

- 【問】現在係争中の水俣病不知火患者会を原告とする裁判は、提訴後何年か
- 【答】熊本では7年、東京・大阪では6年を経過している。
- 【問】裁判は既に提訴後7年を迎え、原告も「生きていくうちに救済を」と強く訴えている。市長は原告のこの声をどう思われるか
- 【答】1日も早くあたる限りの方が救済されることが必要かと考えている。

【問】水俣病特別措置法第4条には「救済を受けるべき人々があたる限りすべて救済され、水俣病問題の解決が図られるように努めなければならない」とあるが、そうなるよう水俣市としても最大限の力を尽くすべきかと思うがいかがか

【答】水俣病問題への対応については、本市の重要な課題であり解決が図られるよう取り組んでいかなければならないと認識している。被害を受けられた方はもちろん、多くの市民の声を、国や県、関係企業にしっかりと伝えていかなければならないと考えている。

【問】水俣病の被害を受けたすべての市民が救済されるよう健康調査を実施すべきと思うがいかがか

【答】国の動向をしっかりと見守っていきたい。



高岡 朱美 議員  
(日本共産党)



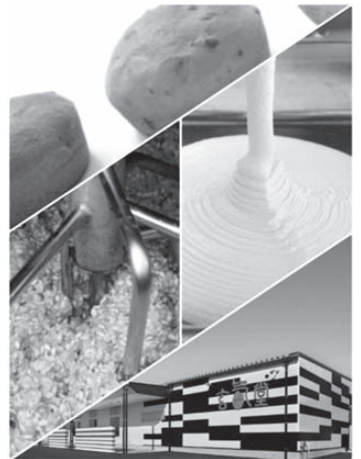
# 輸入小麦から残留農薬検出 学校給食から排除しお米の消費拡大を と対策について

## 学校給食の安全確保 と対策について

**問** 新聞「農民」が学校給食用のパンから除草剤の成分「グリホサート」が検出されたと報じているが、どう認識しているか

**答** 検出された値は国の安全基準を下回っており、問題ない。

**問** グリホサートは「ラウンドアップ」の主成分で、2015年に国際がん研究機構は発がん性が恐らくある「グループ2A」に指定したほか、生殖や発達障害との関係を指摘するいくつかの研究がある。お米の消費拡大につながる完全米飯に



玄米パンを製造販売している  
玄氣堂（菊陽町）

してはいかがか

**答** 児童・生徒の嗜好、検討すべき課題がある。

**問** 嗜好に合わせるなら、米粉や玄米のパンがある。摂津工業（株）が技術提供した玄米パンの工場が菊陽町にあり、給食にも対応する。玄米の栄養価は高く、お米の消費増、地元企業の応援にもなる。検討してみないか

**答** まずは課題の整理をしてみたい。

## 本市の財政状況 について

**問** 近く基金の枯渇が予測されているが事業

の見直しが必要では

**答** 目的を達成した事業を洗い出し、ダウンサイジングを図る。

**問** 税金を増やす取り組みについて具体策は

**答** 既存の観光施設や農林水産物の活用、スポーツ交流人口の増加等で地域活性化を図りたい。

**問** 来年公開予定の映画「MINAMATA」の影響で資料館の来館者が増えるはずだが、機会を逃さない取り組みをしてほしいがいかが

**答** 映画の内容がわからないので来館者が増えると言われる根拠が分からない。「入館料

を取れ」というご提案なら検討の余地もあるのかなと思う。

## 病院、高齢者施設 でのクラスターを 未然に防ぐコロナ 対策について

**問** クラスタが出た山鹿の高齢者施設で、認知症のある感染者の受入れ先が決まらず3日間施設職員が防護服を着てケアされたという。高齢者施設は感染者を出さないよう緊張状態が続いている。厚労省が施設職員に対しては積極的に検査するよう通達を出しているが現状はどうか

**答** 行政で行う検査は医療従事者、介護従事者に限らず熱があるなど一定の症状がある場合だ。一方、感染多発地域に指定されれば施設を対象に一斉に検査が行われることになる。

**問** 現場では、やむを得ず職員が感染多発地域に行く、あるいは来客があるなどしたとき、1週間程度休んでもらうなど対応に苦慮している。独自の要件を設定して保険診療で安心のためのPCR検査ができないか

**答** 保健所を中心とした医療圏で体制整備をしているため、市独自では決められない。

**問** 各施設に交付される緊急包括支援金の範囲内で職員や利用者の検査ができるようだが、そのことを知らない施設もある。再度通知を出すとともに、どこで検査できるか知らせてほしいがいかがか

**答** 自由診療で検査できる機関は非公開となっている。かかりつけ医に相談してほしい。



小路 貴紀 議員  
(真志会)



# ハゼ日本一の復活に向けて5ヵ年計画である 第七次水俣・芦北地域振興計画で足場固めを

## 道の駅水俣の 再整備について

**問** 再整備の基本方針及び整備内容は

**答** 「より豊かに過ごせる居心地の良い世代交流拠点へ」をテーマに、市街地のスーパリーや近隣の物産館とは異なるパークショップを新設する。さらに、物産館まつほづくりを改修し親子や孫等が楽しく過ごせる「木のおもちゃ館」の新設、その他既存建物を有効に活用し、再整備を進める。

**問** 現在の進捗状況は

**答** 来年度当初から建設工事に着手し、令和4年度当初での供用開始を目指している。

**問** キャンピングカー等の誘客策は

**答** 24時間対応のトイレ及び駐車場を活用し、新設のイベントデッキでバーベキューができるサービス等を検討する。

**問** 木のおもちゃ館へ木材を提供してくれる

## 新型コロナウイルス感染症 臨時交付金について

**問** 臨時交付金の総額と使途及び効果は

**答** 第1次及び第2次合わせて総額は約5億8560万円。先行受付分としては、他の自治体に先駆けて交付を受けた。経済分野では「中小企業支援金」「飲食店応援チケット事業」「新しい生活様式推進補助金」、観光分野では「みなまた観光応援券発行事業」「泊まって応援キャンペーン事業」「観光PRラッピングトラック



市民サポート制度を作るのはどうか

**答** 市民に関わっていただくことはありがたく、総合的に検討する。

運行事業」、農林水産分野では「農林漁業事業者支援金」、教育分野では「GIGAスクール構想」等々、各種事業を通して雇用確保と地域経済の振興に大きく寄与している。

**問** 追加経済対策は

**答** 水俣商工会議所が令和3年1月から実施するプレミアム付き商品券事業を支援する。2億4千万円の資金が循環し、本市経済の活性化に繋がる。

## 特産品化に向けた取り組みについて

**問** 和紅茶、カキ、タケノコ、ハゼの現状は

**答** 和紅茶は各種イベントの開催とPR活動を支援し、認知度を上げていく。カキは市漁協組合が取り組む「恋路カキ」のブランド化に向けて、養殖の資材導入及び技術向上を支援し、サイズアップと生産量増加が図られている。タケノコはJAあしきたの取り組みに併せて、生産者と林業法人が協議会を設立し、荒廃竹林の整備を進めながら「早堀タケノコ」の生産量を増やしている。ハゼは所有者の高齢化と労働力不足により荒廃が著しいが、今年度に出荷者等で組織する「水俣ハゼ再生プロジェクト推進協議会」が設立されたことから、3年計画で雑草木の刈払い、継木や管

理・収穫方法の講習等を予定している。また、ドローンを活用した分布調査を実施しており、整備可能なハゼ林区域を見極めたい。

**問** ハゼの実生産の振興が第七次水俣・芦北地域振興計画に盛り込まれているが、熊本県の受け止め方は

**答** 九州管内において本市が有数のハゼ産地であることから要望していたところ、熊本県からは「産業振興及び地域振興につながる水俣独自の振興策として有意義な事業」との評価をいただき、各種補助事業の支援を受けたところである。









桑原 一知 議員  
(真志会)



# 平時の訓練が地域を守り 自分と家族を守る

## 防災・減災に ついて

- 問** 7月豪雨災害の復旧作業の進捗状況は
- 答** 現在49件の災害査定を終え、年内に1件の査定を残すのみであり、準備が整い次第、逐次発注を行う。
- 問** 主要河川の堤防損壊・土砂堆積など状況は
- 答** 護岸については、熊本県が災害復旧工事を実施している。今回の7月豪雨による土砂堆積箇所については令和3年の梅雨時期までに熊本県が撤去を行う予定である。
- 問** 令和2年度水保市総合防災訓練での成果

と課題は

- 答** 成果については、警察・消防・自衛隊などの関係機関や、災害協定を締結している関係団体等との平素から顔の見える関係構築を図れたこと、また、災害発生時の調整事項や連携要領を確認できたことである。課題については、水保第一小学校会場の避難所運営訓練などへの地域住民の方の参加が少なかつたので、次回はチラシの配布等、多くの市民の方が参加できるように創意工夫を図る。
- 問** 避難行動要支援者名簿は、最新の情報が望ましいと考えるが、どのタイミングで更新を行うのか
- 答** 全地区において原則的に年1回の更新を行い、死亡など必要が生じた地区へは、個別に更新を行う。

## 農業振興について



- 問** 7月豪雨災害の農地等の被災状況と復旧の進捗状況は
- 答** 被災報告の件数は農地に関するもの61件、農業用施設に関するものが48件である。復旧については、耕作などに影響が出る緊急性のあった8件は工事を完了している。また国の補助災害に関する工事は発注準備が整い次第、復旧工事を行う。
- 問** コロナ禍で影響を受けた基幹作物の生産者に対し、行政でしかできない支援策は

- 答** 国・県の「経営継続補助金」「持続化給付金」などの支援や本市の「水保市新型コロナウイルス感染症対策農林漁業事業者支援金」「農水産物等販売促進活動支援補助金」など、国の地方創生臨時交付金を財源として、市独自の支援も行っている。
- 問** 兼業農家の支援は
- 答** 導入初期の種苗代金、農業用機械導入の一部補助や農作業委託料の一部補助など支援を行っている。さらに新たな物産館の完成に向けて、各地区の農水産物を物産館に集荷・販売できるよう関係者と協議を進めている。

## GIGAスクール 構想と学校ICT 化について

- 問** GIGAスクール構想に向けて今後どのように取り組んでいく

- 答** 児童生徒の個々の理解度に応じた学習や調べ学習・プログラミング教育での活用や家庭での持ち帰り学習・オンライン授業での活用も想定している。
- 問** 教職員のICT分野の指導力向上はどのように取り組むのか
- 答** 情報教育担当教員を対象とした研修等を計画している。またICT機器保守サポート業者により全職員を対象に研修やサポートを行う予定である。





杉迫 一樹 議員  
(無限21)



# 「誰もが使いやすく市民に親しまれる庁舎」へ向けた設計を

## 庁舎のユニバーサルデザインについて

【問】 高齢者、妊婦さん、小さな子供連れの保護者、車椅子利用者、視覚・聴覚障害者、外国人に配慮した設備・対応は、どのようなものを予定しているか

【答】 高齢者にも判別しやすい案内サイン。2階におむつ交換室、授乳室にはベビーベッドを設置し、温水対応の水回りである。多目的トイレにはベビークチェア、折り畳み式のユニバーサルシート、オストメイトの設置。各所に、多機能多言語音声案内装置、エレベーター

ターには、オートアナウンス機能付きの音声案内、視覚障害者には、点字の対応、監視カメラに白杖の自動認識音声案内システム、誘導用ブロックの設置。盲導犬の同伴も可能である。聴覚障害者には、避難階段前に点滅フラッシュ対応の誘導灯など、それぞれの方に配慮した設計を行なっている。

【問】 駐車場の台数はいくつか。障害者駐車場は何かあるか。また、迷惑駐車への対策はどうか

【答】 駐車場の台数は、100台程度を計画しており、体の不自由な方が利用できる「おもいやり駐車場」として、2台分のスペースを設計している。迷惑駐車を防ぐために、壁にサイン表示を設置し、車椅子マーク駐車場の地面に着色する計画である。



【問】 利用が多いと考えられる1、2階の多機能トイレのドアを自動ドアへの変更はできないか

【答】 コスト面、事故防止の観点から見送った。

【問】 障害者駐車場を1〜2台ほど増やせないか

【答】 増やすことは考えていないが、注意喚起を行う。

【問】 多機能トイレのドア、おもいやり駐車場に関して、再検討が必須か

要と考えるが、今一度、市民との意見交換会をしないか

【答】 これまで市内の公共団体から複数回、意見を伺い設計をしているので、意見交換会の予定はない。

## 教育現場でのICT機器活用について

【問】 タブレット端末を活用した、今後の展開はどうか

【答】 1人1台の端末環境になり、児童生徒の個々の習熟度に応じた学習や、デジタル教材の活用により、プレゼンテーション、動画視聴・編集、音楽演奏、文書や資料の作成、プログラミング教育などの活用が考えられる。

【問】 タブレット端末は、身体的障害のある児童生徒も使用可能か

【答】 障害のある児童生徒が使用できるように、障害の特性に合わせた合理的配慮を行う。

【問】 セキュリティ管理を考えたデータの保存方法はどうか

【答】 授業支援ソフトのクラウド上にデータを保存し、端末ごとにパスワードを設定する。

【問】 想定しない使い方を考える児童生徒への対応はどうか

【答】 児童生徒が不適切な使い方をしないよう、事前の研修や指導を徹底する。

【問】 インクルーシブ教育への応用はどうか

【答】 インクルーシブ教育への応用も視野に入れている。





議員 恭之 牧下  
(公明党)



# 水俣市も2050年にむけて 二酸化炭素排出実質ゼロをめざそう

## 温暖化対策に ついて

**問** 温暖化対策の現状は

**答** 2008年に環境モデル都市認定を受け、様々な施策に取り組んできた。これにより、基準年度2005年度推計の温室効果ガス排出量約17・6万トンに対し、2017年度は約11・7万トンであり、約34%の削減を達成した。

**問** 水俣市も、2050年に向けて、二酸化炭素排出実質ゼロを表明してはどうか

**答** 表明については、これまでの環境モデル都市づくりの取組みに

加え、SDGs未来都市の視点を取り入れた施策展開による更なる削減を進める中で、検討したい。



## 不妊治療支援 について

**問** 不妊治療助成事業の水俣市民の利用状況はどうなっているか

**答** 熊本県では、「特定不妊治療」の体外受精及び顕微授精の費用の一部を助成しており、本市在住の方は、平成29年度が12件、平成30

年度が7件、令和元年度が23件、令和2年度は11月末現在5件となっている。本市は、令和2年1月から、「一般不妊治療」のうち、人工授精の費用の一部を助成しており、その申請件数は、令和元年度が2件、今年度が、11月末現在で3件となっている。

**問** 水俣市独自の不妊治療費助成事業を実施する考えはないか

**答** 国は、11月26日、不妊治療助成制度の拡充具体策を発表した。しかし、国や県から制度拡充の内容について正式な通知がまだ無く、国の動向を見極めて判断したい。

**問** 不妊治療及び不育症に関するケアの周知強化と併せて、関係団体と医療機関、行政との連携強化に向けた対策が取れないか

**答** 不妊治療を行って

いる方に対する支援と同様に、不育症の悩みを抱えている方に対しても、妊娠届出時やその他相談があった際、悩みを傾聴し精神面の支援を行っている。併せて、不妊や不育症の相談を専門とする熊本県女性相談センターや県内の専門医療機関の相談先の紹介も行っている。

**水俣市立図書館  
について**

**問** 書籍貸し出し状況はどうなっているか

**答** 本年度4月から11月までの8カ月間の貸出冊数は51690冊で、昨年度の同月、同期間の貸出冊数は、70168冊であった。本年度は18478冊、約26%の減少になっている。

**問** 市民の安全・安心のために、図書館に書籍消毒器を設置できないか

**答** 図書館利用者が新型コロナウイルス感染症を心配せず、安心して本を借りていただくため、令和2年12月中に図書消毒器を設置する。機能としては、本を開いた状態で紫外線を照射する殺菌消毒機能、消臭抗菌剤を循環させて、不快なおいを除去する消臭機能、本の下から風を当てて、ページ間のほこり等を除去する清掃機能の以上3点がある。



図書消毒器





木戸 理江 議員  
(真志会)



# 市民の「暮らしやすさ」について 様々な視点から問う

## 医療センターの 効果的運用と利用 向上対策について

**問** AMI株式会社との締結について、オンライン診療は高齢者にとって緊張や不安が大きいのではないかと、看護師が付き添って、機器の操作など診察のサポートを行う。



久木野診療所にてオンライン診療体験会

**問** 他の医院で出産するケースをどう思うか。利用者を増やす努力をしているか。

**答** 麻酔による合併症のリスクから無痛分娩を行っていない事も理由の一つではないか。母親学級や親子すこやか外来など多職種の支援を行っている。

**問** メグセンターが設置された経緯と利用状況、MRIの能力はどうか。

**答** 国立水俣病総合研究センターの客観的な診断法を検討するため脳磁計を導入する際に多くの市民に利用して頂く事が期待できるとして協力要請があった水俣市民492人が検査を受けている。MRIは大規模施設で使用の最上位の機種である。

## 学校の現状について

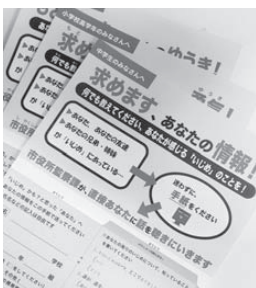
**問** 学用品等は全て新品購入なのか。  
**答** 譲り受けや、おさがりの使用も認めている。

**問** いじめについて、当事者が声をあげられない実情をどう思うか。それに取り組む学校の悩みや問題点は何か。

**答** 大きな問題であり悩みや相談を受け止める体制づくりが重要である。

より専門的な支援を要するケースもあり、学校だけでは解決が困難な場合があるのが悩みである。

**問** 寝屋川市のような先進事例があるが、行政として参考にできないか。



寝屋川市で配布しているチラシ

**答** いじめを人権問題と捉える視点は、市長部局での対応にあたっておおいに参考にすべきものと考えます。

## 湯の鶴地域の観光振 興策について

**問** 第6次総合計画の目的に対し、具体的な取組み内容は何か。  
**答** 湯出七滝や矢筈岳トレッキングなどの魅力の情報発信など取り組んでいる。

**問** 倒木や崩落など、悪条件の場所の環境整備や観光客誘致は具体的にどうか、すぐに計画実行できないのか。  
**答** 活用できる国等の支援策を調査する。

**問** 紙媒体や広告宣伝より、まずは受入れの環境整備が必要ではないかと思うがどうか。  
**答** 憩いの広場の活用は地元自治会へ委託してはどうか。

**答** 広告宣伝と受入環境整備は両輪で取り組む必要がある。委託は慎重に判断し、効果的に活用できる様協議していきたい。

## 水俣市の防災と安全 対策について

**問** 水俣川の氾濫警戒について市民への通知や対策はどうか。  
**答** 県のメールサービスや、市の防災無線やホームページで発信する。

**問** 避難所の男女別や防犯対策など改良の策はあるか。



湯出の総合防災訓練での女性専用エリア

**答** 施設の備品等整備し、可能な限り環境改善に取り組む。

**問** 久木野小・湯出小などを避難所として利用できないか。  
**答** 土砂災害警戒区域内に存在し、災害対策基本法基準により、利用はできない。

## 議会の主な動き

(令和2年10月1日～12月31日)

- 10月1日 水俣芦北広域行政事務組合議会
- 6日 総務産業委員会(令和元年度水道事業会計及び公共下水道事業特別会計の決算審査)厚生文教委員会(令和元年度病院事業会計、国民健康保険事業、後期高齢者医療及び介護保険特別会計の決算審査)
- 8日 熊本豪雨災害被災のお見舞い(八代市議会)
- 20日 全員協議会・代表者会議・河口臨海部工事現場視察
- 27日 一般会計決算特別委員会(令和元年度一般会計の決算審査)(～29日)
- 11月6日 議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会
- 27日 令和2年度第6回水俣市議会定例会開会
- 30日 水俣芦北広域行政事務組合議会臨時議会
- 12月4日 庁舎建替等対策特別委員会(免震装置視察)
- 8日 一般質問(～10日)
- 11日 各常任委員会
- 17日 令和2年度第6回水俣市議会定例会閉会
- 21日 厚生文教委員会視察(国立水俣病総合研究センター)

## 他市町村からの視察

(令和2年10月1日から12月31日)

- 10月29日 神奈川県秦野市議会  
環境モデル都市について

### 水俣市議会から八代市議会に 災害見舞金を贈呈しました

10月8日に岩阪雅文議長と牧下恭之副議長が八代市を訪問し、7月豪雨災害により被災された方へ心からのお見舞いを申し上げ、議員一同からの見舞金として各10万円を贈呈しました。



牧下恭之副議長、岩阪雅文議長、中村和美議長、成松由紀夫副議長

市議会ホームページから議会の動画や会議録をご覧いただけます！

水俣市 議会

検索

Q. 市議会の様子を見てみたいけど？

A. 当日の中継や過去の議会も見られます！

水俣市議会ホームページから  
「議会インターネット中継」

をクリック！



Q. 質問や答弁の内容を調べたいんだけど？

A. 質問や答弁のキーワードで検索できます！

水俣市議会ホームページから  
「水俣市議会会議録検索」

をクリック！



インターネット中継、会議録検索で不明な点は市議会事務局(TEL61-1661)までお問い合わせください

## 編集後記

コロナ禍で迎えた年末年始。忘年会、新年会も開かれず、様々な事業の経営に深刻な影響が出ています。毎年楽しみにしていた家族の帰省も今年は取りやめ。一生に一度の晴れの成人式も中止を余儀なくされ、重苦しい雰囲気の中、令和3年のスタートでした。

水俣市でも年末年始あたりから、新型コロナウイルス感染症に罹患される方がいらっしゃるようです。不自由な生活が続いていますが、自分や家族の命は自分たちで守るという信念を再認識して徹底した感染予防をとってほしいと思います。

ワクチン接種も今年は開始される予定です。明けない夜はないとか「止まない雨はない」といいますが、人類は必ずやこの病魔を克服すると信じています。

コロナ禍でのお困りごとは、ためらわず市役所の窓口や市議会議員にご相談ください。

編集委員(委員は50音順)

委員長	谷口 明弘
副委員長	岩村 龍男
委員	木戸 理江
委員	杉迫 一樹
委員	田口 憲雄
委員	平岡 朱
委員	平岡 朱
委員	前垣 由紀
事務局職員	前垣 由紀